

排尿障害の予防・治療剤

主たる提供特許

権利者	国立大学法人長崎大学
題名	排尿障害の予防・治療剤
番号	特許第6032681号

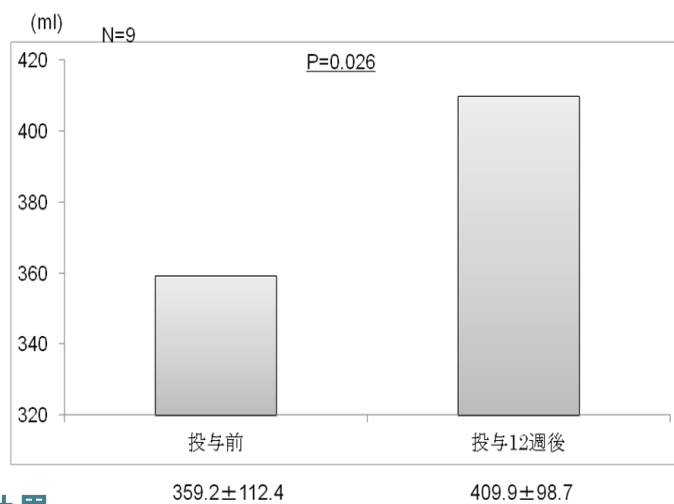
神経因性膀胱、間質性膀胱炎、過活動膀胱に有効に作用します。

技術概要

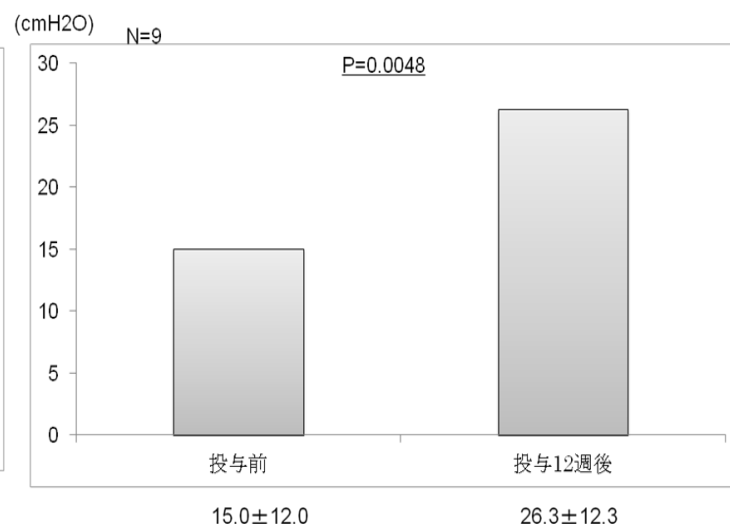
発明概要

種々の疾患に起因する排尿障害を抱える患者数は非常に多く、日本の間質性膀胱炎の患者数は20万～40万人と推定されています。一方、過活動膀胱は尿意切迫感を必須とする症状であり、頻尿を伴うことから多くの患者が日常生活に支障を感じているという報告があります。本発明はそれらの症状に対する有効かつ安全な治療剤に関するものです。本剤の投与により、膀胱容量が大きくなり、排尿筋圧が上昇するという結果を得ました。

膀胱容量



排尿筋圧



効果

- ・神経因性膀胱、間質性膀胱炎、過活動膀胱に有効に作用します。
- ・本剤の有効成分は人体に対する安全性が確認されています。

応用分野

実用化例

- ・排尿障害改善剤

企業へのメッセージ

共同研究先企業、技術移転先企業を探しています。